

鳥羽市・サンタバーバラ市中学生交換派遣事業から

4人の中学生の

ホームステイ体験記



市内の4人の中学生が7月28日から8月8日まで、姉妹都市サンタバーバラ市(米国)を訪れました。参加したみなさんに、サンタバーバラでの体験や、ホストファミリーとの交流についてお話しいただきました。

サンタバーバラに行くって

鳥羽東中2年 中村 萌

鳥羽駅を出発する時はすごくワクワクでしたが、どこか不安もありました。でも、関西空港に着いた時にはすでにワクワクしかありませんでした。

サンタバーバラの空港に着いたら、それぞれの相手や家族、役員のかたがたくさんの笑顔で迎えてくれて、本当に良かったです。

わたしは、アメリカは日本よりもすごく暑いと思っていました。でも、実際に行ってみたら昼間は涼しく、朝と夜は寒いくらいでびっくりしました。食べ物もおいしかったです。なかなかお腹が受け付

けませんでした。だから、向こうでインスタントのみそ汁を食べた時、インスタントなのにすごくおいしく感じました。あらためて日本食のおいしさを知りました。

アメリカの町はゴミが全然落ちてなくて、すごくきれいでした。海も、広々としていて、真っ青で、見ても気持ちが良いです。泳いでも気持ち良かったです。

初めて英語を話さないといけない状況になって、かなり困りました。もっと勉強しておけば良かったと思つたので、これからもっとまじめに勉強しようと思いました。

今回のいろいろな経験を生かして、これからの生活に役立てていこうと思いました。

BIG HEART

鳥羽東中2年 石橋 聖

わたしは、サンタバーバラに行き、日本とは違う考え方や文化などたくさんを学ぶことができました。

現地に着いた時の一番の印象は、日本と違い気候が涼しかったという事です。同じ夏でも、こんなに気温が違ったのには驚きました。

わたしのホストファミリーは買い物やファストフードに連れていってくれ、アメリカでの生活は充実していました。本場のハンバーガーも食べる事ができて良かったです。

プールパーティーでは、外国の人たちと仲良くなれて良



中村さん(写真前列右端)はみんなと記念撮影

かったと思いました。外国の人たちは本当に明るくて、わたしまで元気になりました。アメリカでの生活は、わたしにとって魅力的でした。このような経験の中で、わたしは国際交流の大切さや語学力の必要性を実感しました。言葉が通じないと伝えたい事も伝えられなくて、相手に気を使わせてしまったりします。これからもっと語学力をつけてホストファミリーとの関係を続けていこうと思います。外国での友達もできて、世界が広がった気がします。

この企画に参加して、本当に自分の為になったと思います。そして、アメリカでの生活は楽しくて最高の夏休みになりました。



サラの誕生日を祝う石橋さん



サンタバーバラ市役所で、市長と記念撮影



歓迎のケーキを作ってくれました



みんなと仲良くなれたプールパーティー

サンタバーバラに行つて

鳥羽東中2年 三谷将美智

サンタバーバラを訪れて、日本では学べないことや、体験できないことを経験しました。印象は、街並みがきれいで、自然がとても豊かでした。また町の人たちが、とても明るく温かい人が多い所だと思いました。全然知らない人でも、目が合うだけで、ニッコリ笑ってくれて、こっちも笑うと、握手してくれたり、すぐく心が温かい気持ちになりました。ホストファミリーの両親も、どこへ行くのもついていってくれ、僕を息子のようにな、大事にしてくれました。夜ご飯の時も、お父さんが外でハンバーグやステーキを焼いてくれたり、お母さんはパスタを作ってくれたり、おばあちゃんは陽気に踊ってくれたり、お兄ちゃんはゲームと一緒にやってくれたり、陽気で優しい家族でした。

サンタバーバラの海は、すごくきれいでした。ビーチへ泳ぎに行つて、真っ青な海へ飛び込むのは最高でした。でも少し泳ぐと寒くなり、あまり泳ぐことができませんでした。日本との気候の違いだと思



ザックと仲良しになった三谷君

いました。サンタバーバラと日本では、気候や食べ物、文化の違い、いろんなことを経験してきました。サンタバーバラへ行って、あらためて日本のいい所も発見できたし、僕にとつては、すごくいい勉強になったと思います。

僕は英語が得意ではないので、言葉が伝わらないもどかしさはあったけど、一生懸命伝えようとすると、相手も一生懸命わかってくれようとするので、何の不安もなく楽しく過ごすことができました。でも英語がもっとできたら、もっと日本のことも伝えられたいし、ホストファミリーのザックの言いたいこともわかっ

てやれたのにも思います。僕は、このサンタバーバラへ行って、貴重な体験ができました。

サンタバーバラでは、今まで鳥羽の海でも見たこともない生き物を見ました。海もすごくきれいで、山もすごく高く感じました。

野球観戦もすごく楽しかったです。そこですごくびっくりしたことがあります。突然、マイク放送で名前を呼ばれたからです。すごく恥ずかしかったけど、日本からサン

サンタバーバラについて

鳥羽東中2年 小林 龍征

サンタバーバラに行く前は、言葉も話せないのととても不安でしたが、到着ロビーではホストファミリーが迎えてくれて、不安も忘れホッとしました。

ニツクの家に行く庭にはバスケットコートがあり、ハンモックもかかっています。お母さんは大阪で一年間英語の先生をしていたこともあり、僕の言葉も少しはわかってくれました。お父さんは、大きな会社を経営しており、とても包容力のある人でくれた。僕をすごく大事にしてくれました。



小林君(写真中央)とニツク(左端)

たこと、いろんな人と出会えたこと、僕の一生の宝物にしたいと思えます。

最後の日にはパレードがありました。楽しいなか、ふとホストファミリーとお別れだと思つと、寂しい気分になりました。10日間僕の世話をしてくれた人と別れるのはすごく寂しかったです。

僕は、日本からサンタバーバラに来て、お金も日本では当たり前に使つていたけど、ドルの払い方も少しはわかつたし、言葉が通じなくて本を見て調べたりしながら話をしました。今度、いつかニツクに会えた時はもっと英語で話したいです。

こんな経験ができて本当に良かったです。ありがとうございます。